国語学習指導案

指導者 橘内 美紀

1 日時・場所　　令和 6 年 11 月 29 日(金) 2-2 教室

2 学年・組　　第 2 学年 2 組 33 名

3 単元・教材名　「本の世界を広げよう～がまくん・かえるくんのこうどうをすごろくにしよう～」
「お手紙」(アーノルド・ローベル)

4 単元の目標　〇物語に興味をもち、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体をとらえることができる。
〇紹介したい話を選び、自分が好きな場面の様子について、主語と述語との関係に注意して、
登場人物の行動を中心に想像を広げながら読むことができる。

5 育成を目指す情報活用能力
Ⅱ-3-(2) 話を聞きながら、大事だと思うことをメモすることができる。
Ⅱ-3-(4) 情報を複数の視点から考えることができる。

6 本時目標(11/12)
がまくんとかえるくんの話から、登場人物の行動をとらえることができる。

7 本時展開

学習内容・活動	指導の手立て(〇)と評価(☆)
1 前時までの学習を振り返り、本時のめあてを確認する。 がまくんとかえるくんのほかのお話をすごろくにしよう。	〇これまでの学習が想起できるように、掲示しておく。
2 自分が選んだお話で、作ったすごろくを見直す。 例・タブレットに作ったすごろくを見直す人。 ・出来たすごろくを友達と見合う人。 (全体で) ・タブレットの画面を共有してすごろくを見合う など	〇自分の作ったすごろくを、友だちに自由に見てもらえるようにする。 〇話す人の声がよく聞こえるように、空間に余裕を作り、聞こえる声の大きさで話せるような場づくりをする。
3 自分でうまくできたところや工夫したよいところについて発表する。	〇感想やアドバイスを話すことが難しい児童のために、話し方例を掲示しておく。
4 学習を振り返り、次時の見通しをもつ。	☆場面の様子に着目して、登場人物の行動を想像することができる。 〇次回の見通しをもつ。